

V 自由意見

【男女共同参画の推進について】

根本的に不可能。
給与も上げて心に余裕を持たせる。
男女共に十分参画している(逆に女性の方がめぐまれている)。
お互いのおもいやり。
時間内に仕事が終わる工夫を、職場管理職を中心に働く人全てが意識する。
会社の方針が重要。
夫婦、会社、学校で、十分話し合う。
公的な援助が必要。経済的、環境の整備。
男女平等というなら何事にも平等にしてほしい。
地域も家庭も、求めすぎ、適当にのんびりやれる雰囲気を作ればいい。
頑張りすぎなくても、まわっていく社会が必要。
仕事の時間を減らし、家事等に参画していく為にも金銭的な余裕。
お金がないと学童保育に子どもをあずけたり、介護施設に祖父母をあずけたりできないので仕事にも行けないという人も多はず。生活に余裕がないと難しい。
男性が勤務する企業への助成。休みやすい環境の整備。
男性社会の長時間労働を改める。
男性と女性の平等は無理だと思います。
経済的なゆとりを持たせる。
無理に不得意な分野に手を出さずお互い得意な分野に集中している方が楽だと思う。
男女差で体力的に補えない部分について、仕組みを整備する。
差別ではなくて区別が大事。
給与などの収入が減らない仕組み。
週休3日制など休みを増やす。
低所得にならないために、補助金等の制度など、給与がないから働かないと行けない。
子どもが小さく父親の手が必要な時期の男性の単身赴任を避ける等、仕事の割り振りを会社も考えて辞令を出す。
男女共同参画そのものに反対。推進の必要なし。間違った方向に進んでいる。
男と女ではからだの仕組みが違うから、共同参画は無理と思う。
男女こだわらず、能力的に政策決定の場やリーダーとして相応しい人間を登用することが、男女共同参画だと思う。
男女ではなくやる気のある人がやりやすい環境をつくる(男女で区切ると不幸な人が増えると思う)。
女性が共同参画したいなら、自分がいる環境の中で、自分で考えて何をすれば実現できるか、何が必要か考えるでしょう。なぜ上記の問のように人任せにする？
人生の歩み方について、相対的に女性の方の価値観の幅が広いことも念頭に進めていく必要があると思う。つまり、まだまだ家事・育児に専念したい女性は多く存在するので、共同参画を就業している女性のみを対象にすることは避ける必要がある。
男女にかかわらず、能力、意欲のある者が登用される仕組み。
リモート出勤、フレックス制の導入や、社会全体での労働勤務時間短縮。

【家庭や職場、地域社会における男女の役割分担について】

会社の中堅社員・役員が、育休などの制度を「使うことに対して前向きな評価」をつけて会社の制度として
--

存在しているだけの状態や、後ろ向きの評価を行わないように、または後ろ向きの評価に対して、なぜそのような評価にしたのかを問題視するようにする。
男性は男性しかできないところの家の事を、積極的にすれば良い。 毎日の家事は、女性の手伝いぐらいで良い。2度手間になる。
女性の家事役割が少ない。
そもそも問題設定の時点で、女性が家事などをメインで行い、男性が"手伝う"構図に疑問を感じる。 各家庭の事情があるので、必ずしも男性または女性のみが家事をするのではなく、能力に応じて適材適所にすればいいと感じている。
まだまだ、就業せず家事を望む女性も存在することを疎かにしてはいけない。
地域活動、PTA等も女性役男性役等なくしていく。
男性側が、保育園からのお迎えコール(発熱等)に対応できる職場の仕組みづくり。なぜ母親ばかり職場に頭を下げて育児をしなくてはならないのか。父親にもあの申し訳なさを味わってほしい。
職場に男性の育児休暇などを強制させる(短期間でも)。
夫婦共働きでしか生活していけないような給与体系、労働時間や労働環境、男性が「当たり前」と感じて今まで女性が行ってきたことを代わってこなしていけるような環境づくりがないと、いつまで経っても変わらないままだと思う。
子どもが小さい頃体調不良時は必ず母が休み、学校へ出向くのも母、夫が残業すると妻はありがとうと言い、妻が残業すると待たせてごめんと謝る我が家ですが、私たち夫婦もそういう家庭で育ったため基本的に納得している。息子には家事を分担する夫になる方が良いよと話し、洗濯や皿洗いを手伝ってもらおう。 給料が男性の方が高いから、家事は女性の仕事になりがちではないか。
この問9の内容は改める?なくす?どうやって?という具体策がなく、今の若い男性は、かなり、積極的に参画している方が増えてきています。意識の問題だと思いますが、何十年も前の考え方がベースになっていて、今の時代の回答内容とは思えません。私は60代ですが○は選べません。
以下も改めてほしい→ジェンダーの中に多少なりとも兄弟姉妹順に物事を進め行う通念、習慣などが含まれている様に感じる。

【子育て・介護の環境、支援制度について】

小学校低学年や病気の子どもの安心して預けることができるようにする。
家事や育児は自分でしないと気がすまない(人任せにできない)女性は意外に多いと思う。 家事育児は楽しめる環境を作ってほしい。介護は誰でもプロに外注できる方がお互い幸せかと。
保育士、介護士の給料を上げたり、働きやすい環境を作る=子育て世代や介護が必要な世帯に十分なサービスを提供できるようにしてほしい。育休が取りやすい社会にしてほしい。補充員を楽に手配できるとか。
子育てが落ちつくことなど一生ないです。特に小学生以下の子どもがいる方が休暇を取れる環境づくりをお願いしたいです。
病児保育の充実。
子ども世帯への支援の充実。教育、医療費の助成。子ども世帯の親が働きやすい環境を作る。
そもそも、保育、小学校に上がってからも、そういう施設を充実させないと女性が働けないから、ずーっと男女共同とか男女平等とか無理。
車に乗れなくなった親の通院をつきそってつれて行ってくれる制度があれば助かります。 タクシーに1人で行かせるのも心配な為、仕事休んでついて行かないといけない。
職場に託児所を設ける。
子どもや老親を病院に連れて行くなど、平日でなければいけない(仕事を休む)事はほぼ女性が担当している。自分の子ども、自分の親という事実を男性は強く意識する事。又、職場も受け入れるべき。 (母、妻がいるなら任せればよい、という考え方を改める)

【社会における女性の活躍について】

女性の働く意欲を高めるべき。
特に女性が不利益な社会とは思わない。
女性の収入を制限しない(扶養控除の上限をなくす)。
仕事における女性の地位・収入の向上。
女性が経済の主力となる場合、十分な収入が得られる就職先。
女性が働きやすい環境をつくる。
女性リーダーの登用は良いですが、無理に能力のない人間を登用することによる、女性の能力への不信感が高まることへの懸念があります。能力や意思のある女性へのバリアの払拭を。
細かいことも言わない人、広く全体を見て判断できる人なら女性でも部下は付いてくると思います。
女性の知識・技能を高める。
女性が仕事をしやすい環境を整備するための制度を見直したり、女性が仕事を辞めずに育休や産休を取りやすい環境を整備したりすることがいいのではないかと感じています。
女性の正規雇用を増やす。
結婚後の名前を選択できるようにする。

【家庭、学校や地域での教育について】

教育課程に家事全般の体験授業を取り入れる(男女共に)。
子どもの頃からの教育(学校で学ぶ)。
子どもの時からの教育やしつけ。
社会がどんなに声をかけても、家庭は女という考えは改められないので、義務教育から取り入れていくべきだと考える。
男女平等などの考え方をそれぞれが考えられるような教育。

【固定的な性別役割分担意識や慣習について】

男だから女だからではなく、個人の適性と能力や時間の都合などで事をすすめられる様に教育すべきで、社会もそうした方が良い。
男性・女性ではなく個人の向き不向きを考えた人員配置する為のルール作りとディスカッション。
男性を、どのようにして、その気にさせるか?を考える。
一人一人に根付いた男女の役割意識の改革。社会全体の空気が変わる事(やはり未だに男は仕事、女は家事子育ての様な空気は強い。本人が望むのなら構わないが、望んでいないのに押しつけられるのは嫌)
1000年以上に渡り培われていた慣習、考え方、あり方などを一朝一夕に変えることは難しいと思うし、そうしようとするならば法律を作り、違反すれば罰せられるというものでなければ難しいと思う。そもそも何をもって男女平等と言えるのか、人によってその感覚は違うものであり、各々が納得していればそれでいいし、納得していないのであればその人が訴えられる仕組みを作る必要があるという事なのだと思う。
女性が主夫というあり方を受け入れること。女性が黒柱として家族を養うことを受け入れること。女性の上昇婚指向をなくすこと。役割分担をなくして2人でほどほどに稼ぐより、分業による選択と集中で効率的に1人を出世させ大きく稼がせる方が経済的に強いため、共同参画にこだわるメリットがお気持ちしくない。
手伝う意識ではなく自分ごととしてやる。
男女にこだわらず協力し合えば良い。
男性と女性で生き物として違うのだから、互いの価値観を強要せず譲歩する姿勢をお互い取るべき。
女性だけの目線になりすぎると別の問題が生じるので、「女性女性」とルールを決めすぎない方がよいと思う。男性の意識や会社などのサービスは考える必要があると思う。

<p>男性の意識・行動を変えるにはどうしたら良いのか。頭ではわかっている、自分が動くのが「嫌」という気持ちはどうすれば変わるのか？</p>
<p>世間では、女性の方が不公平な扱いを受けているという風潮（女性不利）があるが、実際には、女性優遇の場面も多くある。本当に男女平等を目指すのであれば、女性の権利だけをより支えるのではなく、男女関係なく同じように扱うことを目指す必要がある。</p>
<p>条例、制度を見直しても、人の意識が変わらないと進まないと思う。</p>
<p>制度など形の見直しも大切だが、その中で働く人が、何故そうするのか理解・納得していないと形だけの意味のない改革になってしまう。例えば女性リーダー・人材の育成を進めたとしても、一緒に働く人がその女性を見下したり、ハラスメントをしたりした場合、女性が仕事を続けるのは難しいと思う。男性にもハラスメント等の憂いがあるかと思うが、やはり女性の方がよりその様な負担が掛かる場面が未だに多いと思う。そういった意味で女性が男性と同じスタートラインで仕事をする（続ける）・出世すると言うのは難しいと思う。（女性の方が他から足を引っ張られる場面が多いと思う。）</p> <p>より女性の社会進出を進めるには、一緒に働く古参の方々の意識改革も大切だと思う。出来ないのなら辞めて貰いたい。（少なくとも決定権などを持つ重大なポストには居て欲しくない。）</p> <p>上の世代の方（特に男性）には「ジェンダー」や「男女平等」を真に理解するのは難しいのかと思う。育った時代があるかと思うが、基本的に女性を見下している・物扱いする人は多く感じる。（仕事ではその扱いのくせに、おしゃべりしたい・世話を焼かれない等は女性を求める傾向が高いのも不快。尊敬できる方。そうでは無い方も勿論いらっしゃいます。）そんな人達がいる中では、どれだけ制度や法律を整えても意味が無いと思う。</p> <p>ただ女性（自分も含む）も、責任は持たなくて良い。困ったら最終的に男性職員に任せれば良い。と考えている所がままあると思う。誰かに任せる・やって貰えるでは無く、「私がやる」と言う意識を持つことも大切。（勿論持っていていらっしゃる方も沢山居ます。）</p>

【国や県の男女共同参画の推進について】

<p>国・県・企業等による休日暇制度の充実及び取りやすい体制づくり。上記とあわせ、保育園や幼稚園、学童保育等、子どもたちが安心安全にすごせる体制及び制度作り（家庭に補助金を出すことも大切だが、これは根本的な解決につながらない。）。少なくともこれらが充実しないと参画は難しいと考える。</p>
<p>議員定数の男女比50:50にする。</p>
<p>県知事を含め、自己の利益のためでなく真に住民、国民の為に働く政治が現れること。</p>
<p>窓口を設けず県から直接会社へコンタクト、指導をする。</p>
<p>国や自治体の個人への積極的な経済支援。</p>
<p>少子化を進めたいなら力を入れるべき。少子化を遅らせたいなら共同参画は不可能。</p>
<p>役所目線の考え方ではなく、役所職員が家事等平等に行うこと。</p>
<p>定年制65才を日本全体にとり入れる。全企業、日本のトップも含めて平等にしてほしい。</p>
<p>女性目線の話が多すぎます。これまでの職場では、女性が優遇されていることが多かった。本当の意味での平等とは何かを再度検討。</p>
<p>法律等見直しとすぐには変わらない。男性女性平等社会を目指すと言われて20年以上、まだこの程度、されどここまで変わってきたとも評価できる部分もある。個人の意識が変わる様（少しでも多くの人の）、ただただ時間をかけあきらめず根強く発信し場所の提供を望む。これにかかる予算や人員の削減のないようくれぐれもお願いしたい。切に願う!!</p>
<p>「差別と区別」「一律平等と公平」を、生物的、身体的な違いを男女共に頭に置いて進めて下さい。</p>
<p>“女性を積極的に”～の時点で、すでに平等でないことを感じる。</p>
<p>大企業や公的な所は制度が充実しているので、中小、個人の所に向けて周知する方向が良いかと思います。</p>
<p>県職員は、県民の模範となって、1人が全ての家事（←料理、洗たく、清掃、地域活動、育児）スキルを身につけてほしい。</p>
<p>男女が助け合えるムードを充実させると共に経済的援助、環境の整備が何よりも大事。</p>
<p>各家庭、男女間での対話、相互理解によるものであると考える。又他の家庭にどうこう口出しするものでも</p>

ない。センシティブな内容に、県なんぞが余計な労力を注いでも全く評価に値しない。
生理休暇や産前後休暇など、女性が直面する困難に理解ある社会になってほしい。
誰がどう困っているのかわからないので具体的になぜ共同参画を推進したいのか教えて欲しい。個人的には女性が男のように会社仕事をすると育児、結婚等しにくくなると思うので反対です。会社次第だと思いますが。
核家族になっているので、とにかく女性の行動範囲が狭まっています。サポートの充実が、必要です。
女性を優位にせず、平等にする。
政治家の発言からも分かるが、男尊女卑の意識を根本的に排除しないと何も変わらないので、そういう取り組みから変えて行く。
無理に女性の社会進出は進めるべきでは無い。行き過ぎたジェンダーギャップの考えが良くない。能力のある女性なら今でも活躍できているのにわざわざ無能な女性に機会を与えることはない。
【女性上位ではなく男女共同参画が重要】という意識が社会全体に広がるよう啓発する。 ・【具体的なメリット・デメリット】の例を動画にする。 ・SNS、新聞・ラジオ等、あらゆる世代に浸透する広報。
平等の意味を履き違える男女が多数存在するので、その是正に向けた発信を行う。
国や自治体の個人への積極的な経済支援があれば子育て世代、介護世代の積極的な社会活動を不安なくできる。

【アンケートについて】

質問の主旨が片寄っている。
男性、女性共に各々が生活の中で理解し合い家庭が成り立つものである、との考えから愚問。
そもそも、男性が家事育児等々に積極的に参加するべきともとれる質問の仕方が不適切。

【その他】

仕事が回れば何でも、どうでも良い、回らなければ悪い。
よそはよそ、自分は自分、世間体ばかりを気にしすぎる。
幸福はお金だけではないことを説く。
保育所の相談に行った際、役所の窓口の人に親に預けられないか(働いているのに)そばにいてあげることはムリなのか、等々何度も言われた。担当者次第だとは思いますが、窓口の人の教育を徹底してほしい。
男女全ての人は平等と思うけど、なぜそんなに今になってこんな問題を取りあげすぎるのかよくわからない。男と女にはそれぞれの分(ぶん)が生まれた時からあるのではないのでしょうか。
男性と女性はまったくすべて平等ではありません。男性のすばらしさ、女性のすばらしい本質は十分理解することもとても大切です。
その考え方がキライ。感情にまかせたら残念な考え。人とは男と女は何が違うのかをもっと考えて欲しい。男と女は体も性質も違うんだから何でも平等なんて無理です。個々の得意分野をいかせる社会が一番です。おしつけしないで欲しい。男女の不得意をおぎない、やさしい世界が好きなんです。